

授業科目名 <英訳>	美学美術史学(特殊講義) Aesthetics and Art History (Special Lectures)	担当者氏名	人文科学研究所 教授 岡田 暁生						
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	前期	曜時限	火3	授業形態	特殊講義
題目	20世紀音楽とは何だったのか(1)								
【授業の概要・目的】									
20世紀は西洋で生まれた芸術音楽が、19世紀ヨーロッパの帝国主義的な世界へゲモニーを失い始めると同時に、世界に拡散してあまたのクレオール的な音楽文化(ジャズやタンゴなど)を生み出していく時代である。この講義では20世紀の西洋音楽史を、現代的状況が現出する第一次大戦後の1920年代より、第二次大戦をはさんで、ポストモダンの到来する1970年前後まで、前衛音楽の系譜 クレオール音楽の系譜 音楽における東西冷戦状況 の三点に焦点を当てて考察する。									
【授業計画と内容】									
<p>予定しているのは以下のテーマであり、それぞれに3回程度の授業を充てる予定である。</p> <p>1 - 3回：時代区分(1918 / 1945 / 1970)</p> <p>4 - 6回：世界音楽の誕生</p> <p>7 - 9回：音楽の政治化について</p> <p>10 - 12回：ノイズとダンス</p> <p>13 - 15回：前衛音楽における科学主義</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
レポートのみによる。									
【教科書】									
<p>使用しない</p> <p>毎回レジメを配布する。下の参考書の中には高価なものも含まれるが、目次だけでも眺めておけば、授業の参考になるはずである。</p>									
【参考書等】									
<p>(参考書)</p> <p>岡田暁生 『西洋音楽史』(中公新書)</p> <p>ホブズボーム 『極端な時代 上下』(三省堂)</p> <p>アレックス・ロス 『20世紀を語る音楽 上下』(みすず書房)</p> <p>そのほかにアドルノの『音楽社会学序説』及び『啓蒙の弁証法』及び『新音楽の哲学』には頻りに言及する予定なので、ぜひとも一読されたい。またグリフィス『現代音楽小史』(音楽之友社)は手ごろなハンドブックである。</p>									
【その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)】									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									